

回復期リハビリテーション情報

2025/4/1現在

1. 退棟患者数（2024年10月～2025年3月）

① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数

173名

② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数

167名

③ 回復期リハビリテーションを要する状態の患者内訳

	回復期リハビリテーションを要する状態	患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後または義肢装着訓練を要する状態	75名	44.9%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折または2肢以上の多発骨折の発症後または手術後の状態	88名	52.7%
3	外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	1名	0.6%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の神経、筋または靱帯損傷後の状態	0名	0.0%
5	股関節または膝関節の置換術後の状態	3名	1.8%

2. 実績指数（前月までの6ヵ月間）各年度4月、7月、10月、1月に算出

④ 実績指数（⑥／⑦） 2025年4月

59.90

⑤ 実績指数の計算対象とした患者数

119名

⑥ ⑤の患者の退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除した総和

3668点

⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除した総和

61.24

$$\text{実績指数} = \frac{\text{⑥FIM運動項目の得点 退棟時－入棟時（対象患者の合計）}}{\text{⑦在棟日数÷入棟時の状態での算定日数上限（対象患者の合計）}}$$

2025年4月1日

医療法人 愛生館

小林記念病院 病院長

回復期リハビリテーション病棟

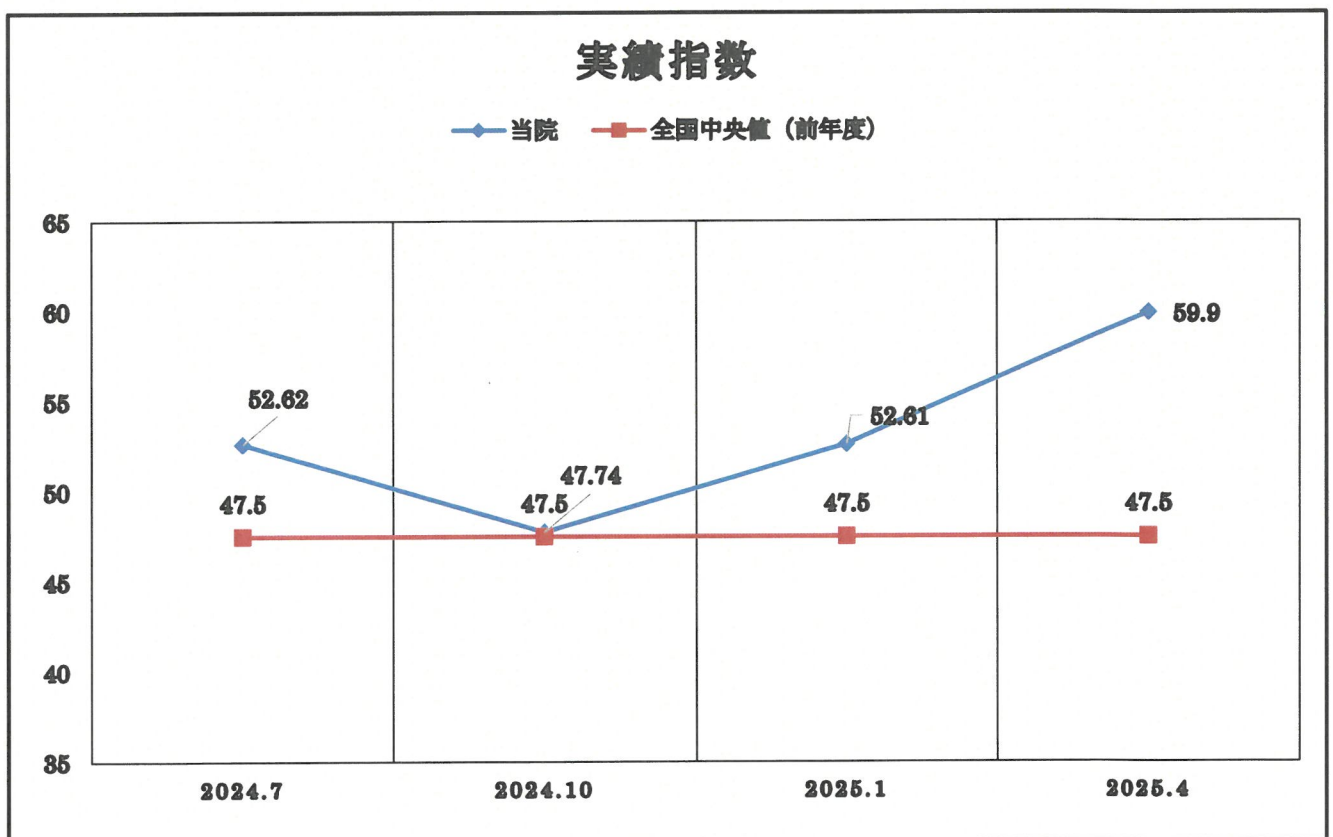
当病棟では、脳血管疾患や骨折後の急性期の治療を終えた後、自宅や社会に戻ってからの生活を元の状態に近づけることを目的とした、リハビリテーションを専門的に行っています。リハビリ訓練だけでなく、起床時から就寝時までの間、食事や着替え、歯磨きや整容、排せつなど、日常的な動作も含めた生活そのものをリハビリととらえたサポートが受けられることも大きな特徴です。

回復期アウトカム実績指数とは 日常生活動作の改善度合いを示す指標です

改善度合いの評価として、具体的には「FIM（フィム 機能的自立度評価表）」を指標とします。当院は施設基準＜回復期リハビリテーション病棟入院料 1＞の届出をしているため、実績指数は 40 以上が必要です。各年度 4 月、7 月、10 月、1 月に前月までの 6 ヶ月の数値を算出し、7 月に厚生局へ提出しています。

実績指数：【FIM 運動項目の得点 退棟時－入棟時（対象患者の合計）】÷

【在棟日数÷入棟時の状態での算定日数上限（対象患者の合計）】で算出



2025 年 4 月 1 日

医療法人 愛生館

小林記念病院 病院長